

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

## テレビ静岡 平成30年5月度 番組審議会概要

平成30年5月10日（木）

14時00分～

テレビ静岡本社 4階 会議室

### — 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子  
木村 精治 上柳 正仁 齋藤 照安 五十住和樹 海野洋平

### — 議 題 —

番組名 テレビ寺子屋

放送日時 平成30年4月15日（日） 藤原和博「面接に強くなる」  
4月22日（日） 高濱正伸「読書の力」  
6時30分～7時00分

制作著作 テレビ静岡

### — 番組内容 —

「テレビ寺子屋」は1976年に始まった教養番組で、心豊かな暮らしを求める視聴者や子育てに励む保護者を対象に、公開収録で様々な講師の意見や考えを紹介しています。

15日の教育改革実践家・藤原和博氏は、「面接に強くなる」をテーマに、全ての出会いに強くなるコミュニケーション術＝自分プレゼン術について、観客が実際に参加・実践するアクティブラーニングを取り入れた講演をしました。

22日の花まる学習会代表・高濱正伸氏は、今までインタビューしてきた「すごい人」の共通点の紹介から、「読書の力」をテーマに、人生における読書の大切さや読書から

身につく力、読書好きになる子育て方法について講演しました。

— 審議概要 —

- ◎自分が会場にいるような臨場感があった。テレビで講演会を見られるのは良い。
- ◎放送は朝早い時間だが、録画してみる価値がある。
- ◎藤原氏は黒板に要点がまとめられていて次の展開が分り易かった。
- ◎社員にも番組を見せているが、特に入社1・2年目の社員教育にも役に立った。
- ◎高濱氏は言葉も優しく落ち着いて聞くことができた。
- ◎音楽が変わらないのは懐かしくて良い。音楽が流れると気持ちが穏やかになる。
- ◎北村アナはふんわりした感じでまとめ、自身の子育ての話もあり良かった。
- ◎自分も孫に読み聞かせをするが、読み聞かせの何がよいのか、理由がよく分かった。
- ◎講演会での気づきが子供、孫、地域に還元していく流れがあるのではないか。
- ◎講演内容とタイトルの付け方がマッチしていない。『面接に強くなる』のタイトルは、『よりよいコミュニケーションのために』のほうがよかった。
- ◎紹介例に実名が無かったので、説得力が足りなかった。また、失敗例も紹介して欲しかった。
- ◎内容が盛り沢山過ぎて、ついて行き辛い面があった。
- ◎会場によってカメラの使いかたや、会場のリアクションの写し方が難しい。
- ◎故吉岡氏のようなメインの人と他の人たちを組み合わせるのもよいのではないか。

第2部 五十住委員 「放送法4条は諸刃の剣か」に関して

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りで参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は平成30年6月14日（木）の予定です。